

2024
4月

月次 39レター

毎月発行するお客さまへのお知らせレターです

第 236 号-① 【基準日 2024 年 3 月 29 日】



🌸 社長メッセージ



資産防衛の観点からも資産運用が大切に

ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷 俊介



皆さま、いつもありがとう投信をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。4月から新年度入りし気温も上がり春の息吹きを感じれらようになってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？毎年この季節は新社会人を駅や電車の中で見かけますが、今年は外国人観光客もたくさんいて駅は例年よりも混雑して活気に溢れているように感じます。

さて、先月の世界株式市場は引き続き上昇する1ヶ月となりました。月前半は日銀の金融政策決定会合やFOMCを前に方向感のない相場展開が続きましたが、日銀が金融政策を変更しマイナス金利解除、YCC（イールドカーブ・コントロール長短金利操作）の撤廃、ETF買い入れ終了などを決めたことによって、金融政策の不透明感が後退して、月後半には日本株が大きく上昇しました。米国株もFOMCの結果がハト派と受け止められて大きく上昇しました。一方で、新興国株式市場は中国の人民元対ドルの急落や、米国の対中規制などを受け低調に推移しました。

為替相場については、月前半には円高に振れる局面もありましたが、後半には対ドル、対ユーロともに円安に振られて1ヶ月を終えました。そのような中で、ありがとうファンドは月間で+3.3%の上昇となり、先月に続いて基準価額、純資産額ともに最高値を更新しました。

今後の見通しですが、欧米各国の利上げが一段落する中で、米国の今後の景気動向や利下げ見通しに注目が集まっています。また、今年是世界各国で選挙が行われる選挙イヤーであり、選挙動向の不透明感に一喜一憂する相場展開が考えられます。特に11月に行われる米国の大統領選挙では、共和党のトランプ前大統領と民主党のバイデン大統領の再選となり、トランプ前大統領が勝利したら政策が大きく変更される可能性が高く、長期化するウクライナ情勢や混迷する中東情勢、米中対立などの地政学リスクにも大きな影響を与える可能性があります。選挙動向の不透明感が増すことによって、マーケットのボラティリティが一段と高まり相場が大きく調整するリスクも高まってくるでしょう。



日本国内においては、日銀の金融緩和政策が変更されてマイナス金利が解除されて17年ぶりの利上げが行われましたが、マイナス金利前のゼロ金利の時代の金融政策へ戻って正常化されただけであり、金融緩和は引き続き継続されていく見通しなので、米国のようにすぐに大きく政策金利を引き上げていくことは考えにくいでしょう。実質賃金のマイナスが22ヶ月連続で続く中で、物価と賃金の好循環を実現していけるのかに注目が集まっています。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

そのような中で、ありがとうファンドは今後も国際分散投資を継続するとともに、イベントリスクや地政学リスク等に備えて、利下げ局面やリスクが増加してボラティリティが高まる局面で上昇が期待される金(ゴールド)へ分散投資することでファンドのダウンサイドリスクを抑制してお客様の資産をしっかりと守りながら長期投資で増やしていきたいと考えております。

資産防衛の観点からも資産運用が大切に

さて、毎年恒例の2024年3月基準の金融庁「共通KPI」(金融庁が公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」)の弊社実績を公表いたしました。投資信託の運用損益別顧客比率について、ありがとうファンドを購入されているお客様のうち、**99.3%の方が運用損益でプラス**となっております。(詳しくは別紙をご覧ください)

今年はありがとうファンドの基準価額が年間で約35%も上昇した1年でしたので、昨年よりも利益が出ているお客様の割合が増えてほぼすべてのお客様の運用損益がプラスになっており、プラス幅も大きく増加いたしました。

ほとんどのお客様の運用損益がプラスになっているのは、ここ数年相場が大きく変動する中でも、お客様がありがとうファンド1本を長期でずっと保有して資産運用を長期で継続して頂いている成果だと思えます。まさに「継続は力なり」です。



新NISAがスタートして3ヶ月が経過しました。日経平均株価が34年ぶりの最高値更新となり、日銀もマイナス金利を解除して金融政策も正常化への道を歩もうとしています。国内景気が過熱している様子はなく、物価高騰で家計は苦しく、実質消費も実質賃金もマイナスの状態が継続しています。

株式市場と実体経済のギャップの大きさに株式市場の過熱感やバブルを懸念する声が聞かれる一方で、34年前のバブル時と比較しても上昇ペースが急ピッチだったことを除けば株価指標での過熱感や割高感はなく、企業利益を反映した株価水準であるとの見方もあります。現在の日経平均株価を構成している上場企業の多くは国内だけでなく、海外で売上・利益の多くを上げていますので、国内景気との相関が昔に比べると低下していると言われており、実体経済との乖離が大きくなっている要因の一つと考えられるでしょう。

現在のようにインフレが進む中、実質賃金が下落して、年金も実質目減りしていく中では、円資産での預貯金のみだと私達の生活はますます貧しくなってくるかもしれません。これからの時代は資産守っていくという資産防衛の観点からも資産運用をして資産分散をしていくことが大切になってくるのではないかと思います。

そのような中で、弊社はこれからも長期で信頼して資産運用を任せられるパートナーとしてお客さまの資産運用を一生サポートさせていただきます。お客様が資産運用を継続していけるように、良い時も悪い時も上り坂も下り坂もまさかの時も一緒に伴走していきたいと考えておりますので、今後ともありがとう投信をご愛顧いただきますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。



★ 積立投資のすすめ！

長期投資には、コツコツと分散しながら長期に渡って購入する「定期積立サービス」がおすすめです♪

「定期積立サービス」とは

…毎月決まった日にお客様が決めた金額を、自動で購入してお客様の資産をコツコツ積み立てていくやり方です。引落とし手数料も無料♪お忙しい方にもおすすめの投資方法です。



①『無理なく続けられる』

お手元にまとまった資金がなくても、毎月少しずつ積み立てることで大きな資産へとつながっていきます。貯金感覚で続けていながら、複利効果でリターンチャンスとなります。



②『リスクを分散』

定額での購入で基準価額が高い時に少なく、安い時に多く投資することができます(ドル・コスト平均法)。相場がいい時もよい時も投資を続けることで、平均買付単価を低く抑える方法です。

③『時間分散』

タイミングを分けることで、リスクを分散することができます。時間を味方につけることで、長期でじっくり投資を続けることができます。



タイミングを見計らうのではなく、時間を味方につけていきましょう！

期間	平均取得単価	損益
1年	29,676円	+17.4%
3年	27,160円	+28.3%
5年	23,427円	+48.7%
10年	19,103円	+82.4%
初回(2004年10月)から	13,017円	+167.7%

投資信託をいつ買えばよいか？とのお客様の声が多いですが、投資信託は、タイミングではなく、時間での分散が効果的です。長期で常にタイミングを計ることはとても難しく、かなりの労力を必要とし、それでも確実にいいタイミングで買える保証はありません。

それよりも、ゆっくりと長い時間をかけて、コツコツ投資していくほうがはるかに続けやすく買付単価を平均化されることで、分散の効果を得られます。

＜ご参考＞毎月1万円積立した場合		
期間	投資額	評価額
1年	12万円	14万898円
3年	36万円	46万1841円
5年	60万円	89万2413円
10年	120万円	218万8853円
初回(2004年10月)から	234万円	626万3907円

2024年3月29日現在(基準価額:34,844円)

※上記表は毎月同一金額を継続して積立した場合の平均取得単価となります。
 ※積立による購入は将来の収益を保証、基準価額下落時における損失を防止するものではありません。
 ※計算過程で出る端数の処理等、損益比率計算過程において簡略化した計算式を用いています。

セミナーのお知らせ

お申し込みは弊社 HP まで♪ (<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>)

セミナータイトル	開催日	開催地	時間	講師
ありがとうファンド 第20期半期運用報告会	4月20日 (土)	札幌	13:30～ 15:30	長谷 俊介・真木 喬敏 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第20期半期運用報告会	5月12日 (日)	仙台	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)
ありがとうファンド 第20期半期運用報告会	5月19日 (日)	福岡	13:30～ 15:30	長谷 俊介 (ありがとう投信)

別紙セミナー案内もご覧いただければと思います。

マイページに「資産運用将来シミュレーション」を追加しました！

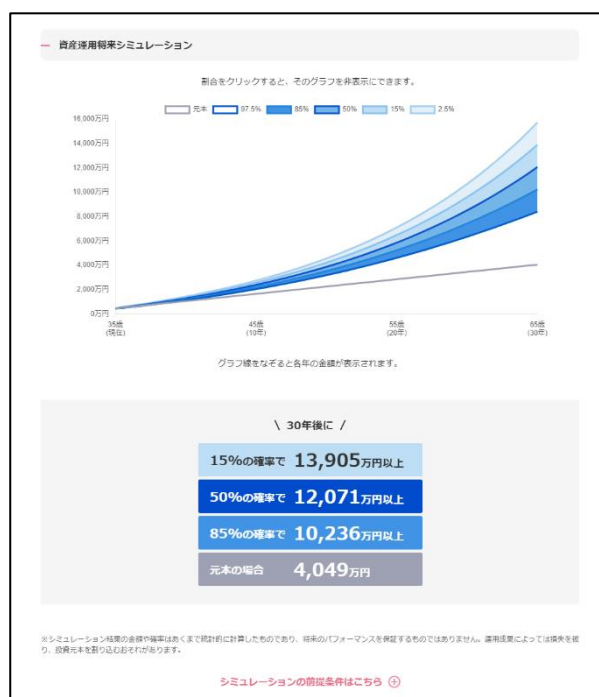
4月よりマイページに「資産運用将来シミュレーション」を追加いたしました。「マイページ TOP」画面を下までスクロールしていただくと「資産運用将来シミュレーション」が表示されます。

ありがとうファンドの設定来(2004年9月)の運用実績をベースに現在の評価金額を元本として、ありがとうファンドの運用・積立投資を継続した場合、将来どのくらい資産を増やすことができるのかシミュレーションしています。

ご利用いただくにはマイページの新規利用登録を事前に行う必要があります。

まだマイページをご利用されていない方は、この機会にぜひ新規利用登録をお願いいたします。新規利用登録の方法については、こちら(<https://www.39asset.co.jp/news/mypage/>)をご覧ください。

※シミュレーションの結果は、将来のありがとうファンドのパフォーマンスをシミュレーションしたものであり、ありがとうファンドの実際のパフォーマンスではありません。また、将来の運用成果・市場環境を示唆・保証するものではありません。



住所変更手続きのお願い

お引っ越しをされてご住所が変わった場合は、書面でのお手続きが必要となります。

弊社から変更用紙をお送りいたしますので、ご記入・ご捺印のうえ、新しい住所が確認できる本人確認書類・個人番号確認書類を添付してご返送ください。

尚、お急ぎの場合は、弊社のホームページから変更用紙をダウンロードして印刷することもできます。

変更用紙のご請求・ダウンロードは、こちら(<https://www.39asset.co.jp/guide/change/>)をご覧ください。

🌸 今月のFP情報コラム

弊社FPが家計に役立つ様々な情報を毎月発信していきます！
皆さまの金融リテラシー向上の一助にもなれば幸いです。

知らない間にクレジットカード情報が盗まれる!! - スキミングとは

現金払いから、クレジットカードや交通系ICカード・スマートフォンなどで支払う「キャッシュレス決済」に移行している人が増えています。

キャッシュレス決済の広まりにともない、クレジットカードを狙った「スキミング」という犯罪の被害が増加しています。カードを盗まれたり、なくしたりしていなくても、被害にあうスキミングの手口と対策を解説します。



クレジットカードのスキミングとは？

スキミングとは「スキマー」と呼ばれる特殊な端末を使用し、クレジットカードから情報を不正に抜き取ることです。抜き取った情報を基に偽造カードを作成し、不正利用や現金を引き出す犯罪です。

スキミングではクレジットカードそのものを盗まれるわけではありません。カード自体が自分の手元へ残るため、被害に気がつきにくいという特徴があります。月末に請求書がきて、はじめて被害に遭ったことを知るといいうケースがほとんどです。

クレジットカードのスキミングの手口

接触型カードに対する手口

接触型カード(カードリーダーに差し込むタイプ)に対してスキミングを実行する場合、情報を抜き取るためにカードとスキマーを直接接触させなければなりません。

具体的な手口としては、レジにあるクレジット決済処理端末やATM端末カードリーダー部分に仕掛けられたスキマーと小型カメラでカード情報と暗証番号を同時に盗む手口が挙げられます。また、警察官などになりすまして本人の目の前で堂々と情報を抜き取るケースなどもあり、手口が巧妙化しているので注意しましょう。



非接触型カードに対する手口

タッチ決済ができるタイプの非接触型カードの場合は、スキマーをカードに接触させる必要がありません。非接触型のスキマーをカードに近付け電波を通じて情報を盗むため、満員電車やエレベーターなど、人が密集した空間では特に注意が必要です。接触型カードよりもスキミングに遭うリスクが高いため、スキミング対策グッズを活用し、スキミング防止に努めることが大切です。

スキミングの被害を防ぐための対策

暗証番号は推測されにくいものを用いる

生年月日・電話番号などの個人情報に関連する数字や、覚えやすいぞろ目の数字など推測されやすい番号をクレジットカードの暗証番号に利用するのは厳禁です。万が一スキミング被害に遭ってしまった場合でも、このような推測しやすい暗証番号では保険の適用から外れてしまうこともあるので注意が必要です。

また、レジでクレジットカード払いをするときやATMで暗証番号を入力するときは、手元を隠して操作してください。カード情報が知られてしまっても、暗証番号が漏れなければ第三者に不正利用される可能性を減らせます。

ICチップ搭載タイプのカードにする

近年主流となっているICチップ搭載カードは情報が暗号化されているため情報を盗み取ることが困難です。そのため、磁気ストライプのみのカードよりも、スキミングされる可能性が下がります。手元にあるカードが磁気ストライプのみのカードであれば、ICチップ搭載カードに切り替えることでスキミング被害を減らす効果が期待できます。ただし、ICチップ搭載カードでも非接触型のスキマーで情報を盗まれる可能性があるため、対策を考えるならスキミング防止グッズを活用しましょう。



スキミング防止グッズを利用する

非接触型のスキマーから出る電波を通さないスキミング防止加工が施された財布やカードケースなどのグッズも市販されています。特にICチップ搭載の非接触型カードに対するスキミングに防犯効果があります。ただし、あくまでも非接触型カードでの対策であり、接触型カードのスキミング防止にはならないので注意しましょう。

利用機会の少ないカードを持ち歩かない

不要なカードを何枚も持ち歩いていると、スキミングの被害に遭うリスクが高くなります。利用機会の少ないカードは持ち歩かないことでスキミングだけではなく、盗難や紛失のリスクも減らせます。

対策をしても被害に遭ってしまったら

万が一スキミングの被害に遭ったことが発覚したら、まずカード会社へ連絡し、すぐに利用停止と再発行の手続きを行いましょう。時間が経過するほど被害が拡大するおそれがあるので注意しましょう。

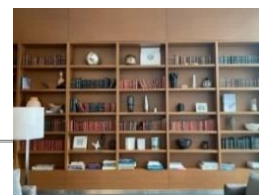
クレジットカードに盗難保険が付帯されていた場合、補償期間はカード会社ごとに定められているため、できるだけ早く連絡することが重要です。

クレジットカードは非常に便利なものであることから、私たちの生活になくてはならないものとなっています。スキミングを完全に防ぐことはできなくても、適切に対処することで被害に遭う可能性を減らすことができます。日頃から利用明細をこまめに確認することと、万が一被害に遭ってしまった場合は、すぐにカード会社に連絡し、手続きを取ることが特に重要となります。今回紹介した内容を参考に、自分でできる範囲での対策は、日常的に心掛けるようにしてください。



ありがとうの本棚

弊社役職員が最近読んだ本を紹介させていただくコーナーです。
資産運用や投資、金融や経済全般に関わらず様々な書籍を幅広く取り上げていきます。



～今月の一冊～

知れば知るほど得するお金の基本 (宝島 SUGOI 文庫) 文庫 - 2023/9/6 平野 敦士 カール (監修)

最近、「NISA」や「iDeCo」という言葉を耳にし、お金について勉強しようと考えている方も多いと思います。書店には「NISA・iDeCo」をはじめ、「お金の増やし方」や「税金」、「相続」など様々な本がありますが、そのような本を読む前にピッタリな一冊を紹介いたします。

本書はお金の基礎知識、使い方、貯め方、稼ぎ方、増やし方、税金、保険、投資、などタイトル通り「お金の基本」が網羅されています。

しかも、難しいお金のことを項目ごとにゆる～いイラストとともに、見開き1ページでひとつの知識がわかるようにまとめられているので、サクサクと読めます。

例えば「お金はだれが発行しているのか?」「お金の役割とは?」など、普段何気なく使っているお金なのに知らないことばかりです。基礎知識にはそのような基本の基が書かれています。お金の増やし方では「投資を中心に始める前の心得」から投資の種類とそれぞれの説明、もちろんNISA・iDeCoもわかりやすく説明されています。

毎日の生活の中で使っている身近なお金ですが、お金やお金の流れに関する知識や判断力(金融リテラシー)を持つことが重要です。「何から始めたらいいかわからない」という方は、まず本書を読んで、正しい基本知識をつけることをお勧めします。また、金融教育が始まった小学生や中学生も本書を読めば、学校の授業の理解がさらに深まると思います。



毎月定期購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取扱いとなりますのでご了承ください。

	【新規で定期購入を申込】 【引落とし口座変更】	【定期の引落とし金額を変更】 【定期引落としを中止】	【引落日】	【買付申込日】	【約定日】 (ファンドの購入日)
2024年 4月分	3月5日(火)	3月27日(水)	4月8日(月)	4月16日(火)	4月18日(木)
2024年 5月分	4月4日(木)	4月22日(月)	5月7日(火)	5月15日(水)	5月17日(金)
2024年 6月分	5月1日(水)	5月27日(月)	6月6日(木)	6月14日(金)	6月18日(火)
2024年 7月分	6月5日(水)	6月26日(水)	7月8日(月)	7月17日(水)	7月19日(金)

ありがとうファンド売買申込不可日のお知らせ

下記の売買申込不可日にお申込みされた場合、自動的に翌営業日以降の受付となりますのでご注意ください。

4月1日(月)	イースター・マンデー	ルクセンブルグ・ロンドン・アイルランド	5月1日(水)	労働者の日	ルクセンブルグ
5月9日(木)	ヨーロッパの日/キリスト昇天祭	ルクセンブルグ	5月20日(月)	聖霊降臨祭	ルクセンブルグ
5月27日(月)	戦没者記念日/銀行休業日	ニューヨーク/ロンドン			

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.99% (税抜 0.9%) 以内の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.40% ± 0.3% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	ファンドに組入れる有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税を含む)及び税金等の費用は信託財産から支払われます。また、その他、信託事務の処理に要する諸費用、監査費用、受託会社の立替えた立替金の利息等についても、信託財産の毎月末加重平均残高が 120 億円以上の場合には、諸経費のうち 100 万円(税抜き)までは信託財産から支払われます。※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

■レポートで使用している指数・為替データの注記：騰落率は、ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→FactSet Market Indices Japan 配当込み(税引き前配当再投資)

【世界株】→FactSet Market Indices World 配当込み(税引き前配当再投資)

【米国株】→FactSet Market Indices United States 配当込み(税引き前配当再投資)

【欧州株】→FactSet Market Indices Europe 配当込み(税引き前配当再投資)

【新興国株】→FactSet Market Indices Emerging 配当込み(税引き前配当再投資)

■R&I ファンド大賞について

R&I「ファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

<免責事項 | Disclaimer>

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperfundawards.comをご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



2024年4月吉日
ありがとう投信株式会社
代表取締役社長 長谷俊介

「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」に係る 弊社の実績について(2024年3月末基準)

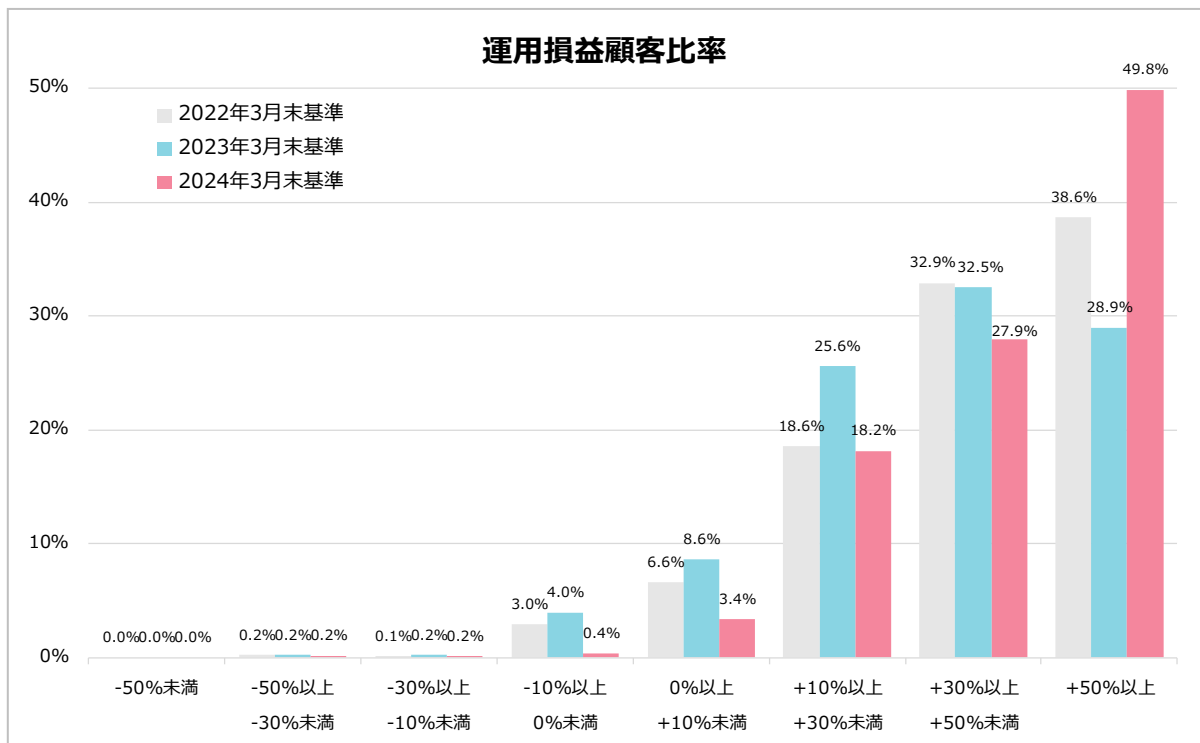
金融庁が公表を行った「投資信託の販売会社における比較可能な共通 KPI」について、弊社の実績(2024年3月末基準)をご報告申し上げます。

※共通 KPI の定義・算出方法は金融庁ホームページをご参照ください。(<https://www.fsa.go.jp/news/30/sonota/20180629-3/02.pdf>)

■投資信託の運用損益別顧客比率

お客様にご購入いただいたありがとうございますファンドの運用損益状況を損益区分ごとに公表しております。ありがとうございますファンドを購入されて資産運用されているお客様のうち、**99.3%の方が運用損益でプラス**となっております。2024年3月末、2023年3月末、2022年3月末の実績を併記しています。

運用損益がプラスの顧客の割合	
2024年3月末基準	99.3%
2023年3月末基準	95.6%
2022年3月末基準	96.7%



※2024年3月末時点の投信残高に対するトータルリターンで算出。2004年9月1日のありがとうございますファンド設定日からの2024年3月末までの全期間を対象。

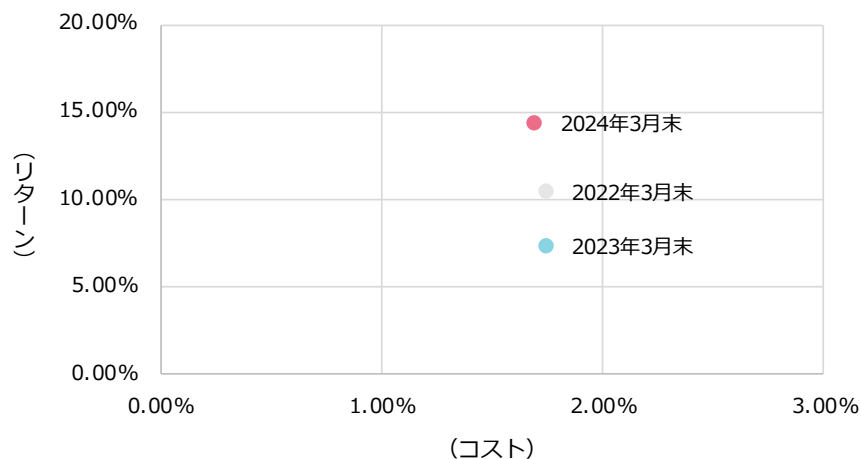
※投資信託のトータルリターン通知制度に基づくトータルリターンを基準日時点の評価金額で除して算出した各損益率の分布。対象のお客様全体を100%として、それぞれの運用損益に該当する顧客数比率をグラフ化。

■投資信託預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン

お客様にご購入いただいたありがとうございますファンドのコストに対するリターンおよびリスクに対するリターンを公表しております。(弊社はありがとうファンド 1 本のみのため残高加重平均値は同一の値となります)

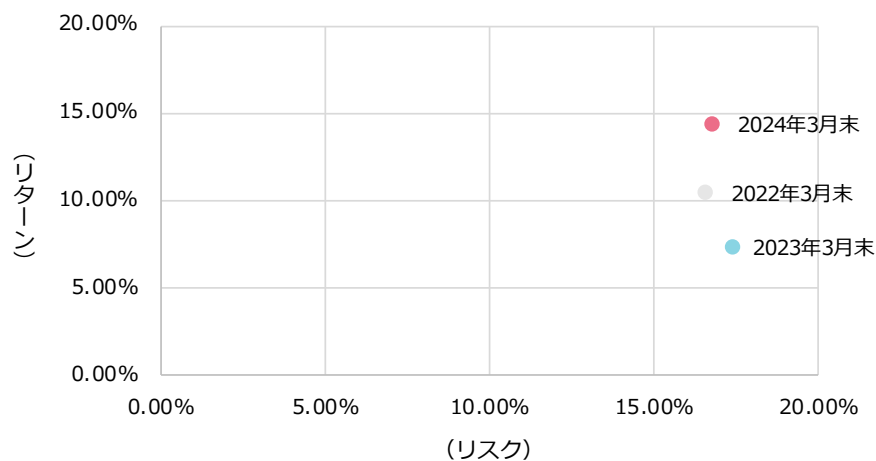
(参考)コスト・リターン/リスク・リターンの実績推移

コスト・リターン



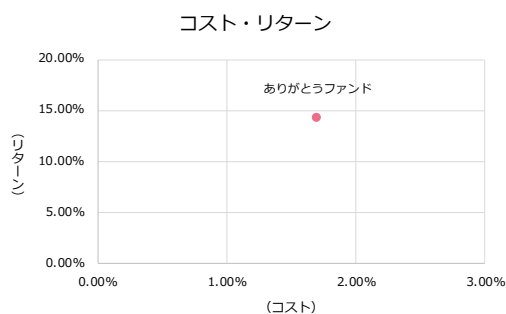
	コスト	リターン
2024年3月末	1.70%	14.28%
2023年3月末	1.75%	7.26%
2022年3月末	1.75%	10.36%

リスク・リターン

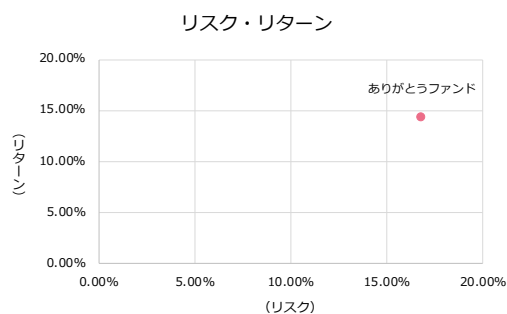


	リスク	リターン
2024年3月末	16.83%	14.28%
2023年3月末	17.49%	7.26%
2022年3月末	16.63%	10.36%

【2024年3月末】

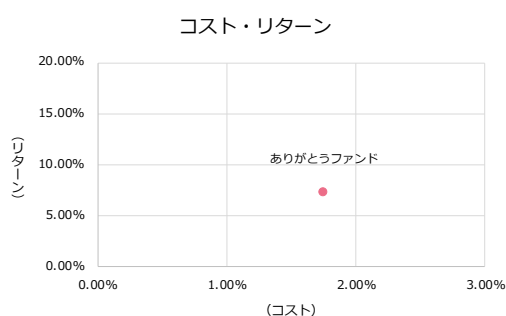


銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.70%	14.28%
残高加重平均値	1.70%	14.28%

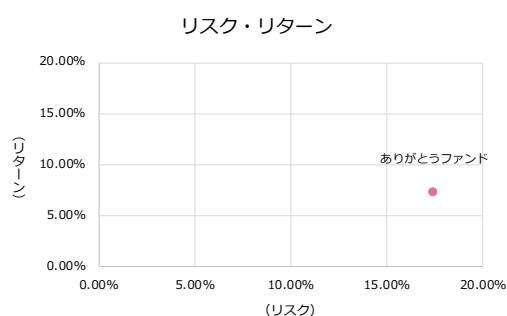


銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	16.83%	14.28%
残高加重平均値	16.83%	14.28%

【2023年3月末】

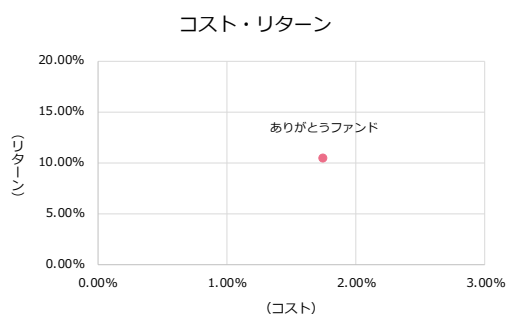


銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.75%	7.26%
残高加重平均値	1.75%	7.26%

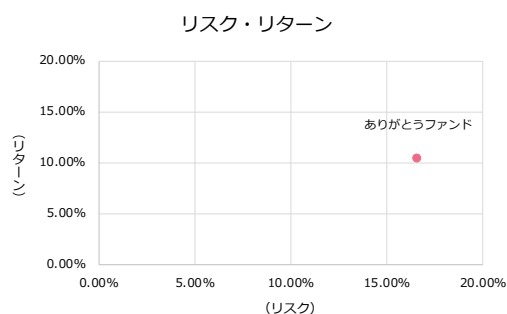


銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	17.49%	7.26%
残高加重平均値	17.49%	7.26%

【2022年3月末】



銘柄名	コスト	リターン
ありがとうファンド	1.75%	10.36%
残高加重平均値	1.75%	10.36%



銘柄名	リスク	リターン
ありがとうファンド	16.63%	10.36%
残高加重平均値	16.63%	10.36%

※リターン:過去5年間の年率リターン(年率換算)

※リスク:過去5年間の年率リスク(年率換算)

※コスト:目論見書に書かれている実質的な信託報酬率の上限値としております。販売手数料はかかりません。

<本件に関するお問合せ>
 ありがとう投信株式会社 カスタマーサービス部
 フリーコール:0800-888-3900 (8:30-17:30 土日祝・年末年始を除く)

祝・創立 20 周年

『ありがとうファンド』 第20期半期運用報告会

ありがとうファンド半期運用報告会を全国で開催いたします！

ありがとうファンドはおかげさまで2月末に第20期中間決算を迎えました。つきましては、ありがとうファンドの第20期半期運用報告会を3月より全国6都市で開催いたします！

第20期の半期運用報告と今後の見通し、運用方針について詳しくご報告させていただきますので、是非この機会にご参加頂ければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております！

東京

2024年3月24日(日) 10:00~12:00
ありがとう投信本社 3F

名古屋

2024年3月30日(土) 13:30~15:30
ウインクあいち(愛知県産業労働センター) 会議室 1009

大阪

2024年3月31日(日) 13:30~15:30
大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
セミナー室 2

札幌

2024年4月20日(土) 13:30~15:30
かでの2. 7(北海道立道民活動振興センター)1010 会議室

仙台

2024年5月12日(日) 13:30~15:30
仙都会館 7F-A

福岡

2024年5月19日(日) 13:30~15:30
アクロス福岡 503



代表取締役社長
長谷俊介



ファンドマネージャー
真木喬敏

お申込みは、お電話・ホームページからどうぞ
URL:<https://www.39asset.co.jp/seminar/info/>
フリーコール:0800-888-3900

